

<草津市自立支援協議会・部会・プロジェクト活動報告>

新型コロナウイルス対策プロジェクト会議の終了について

新型コロナウイルス対策プロジェクト会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が深刻化する中、令和3年から草津市において障害者支援に関係する機関やサービス提供事業者に参加いただき、コロナ対応の情報を集約し、在宅生活困難障害者等支援事業の有効な活用方法等を検討する目的でプロジェクト会議を発足させました。

経過として、令和3年12月には第1回の会議を開催し、コロナ感染により、在宅生活が困難となる障害児者の支援事業に取り組む方向で、介護者が陽性になった時や、事業所が外部に応援を求めたい時の対応のフローチャートの作成、感染対応の手引書の作成を行いました。また、感染の現状、家庭や障害サービスの事業所の現状把握や感染防止の手法研修や衛生物品等の情報提供に努めてまいりました。

令和4年当初より、県・草津市内の感染者数は急激な増加があり、関係機関や福祉サービス提供事業・会議に参加する関係者におかれましては、感染者対応に余念がない状況となり、事務局として会議開催（プロジェクト）を中断した状態で現在に至っております。

一方、令和4年度は連続して2回の感染ピークがあり、国内、滋賀県内でも感染確認が多くありましたが、感染予防の取り組みの定着とワクチン接種などにより、2回目のピーク以降の感染は減少し、国のコロナ対策施策の転換も示されております。このようなコロナ禍の情勢で草津市は在宅生活困難障害者等支援事業の利用はなく、それぞれの機関での対応で経過いたしました。

プロジェクトの事務局としては、会議の運営、進捗管理が不十分であったことを反省しつつ、今後は新型コロナウイルス対策の教訓を生かし、新たな感染症が発生した場合も、災害時対応等同様の要援護者の緊急時対応する体制整備に備えることとし、ここに新型コロナウイルス対策に特化したプロジェクト会議を終了（予定）することを報告させていただきます。

最後になりましたが、このプロジェクト会議に参加、協力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス対策プロジェクト会議

部会長 涌井 康貴

（草津市立障害者福祉センター）